

# 第25回 ユニバーシアード競技大会(2009/ベオグラード) 【マッチレポート】

日時 : 2009年7月2日(木) 10:30(日本時間-17:30) Kick Off

Stadium FC "Zeleznik"  
場所 : スタジアムFCジェレズニック

## ■試合結果■

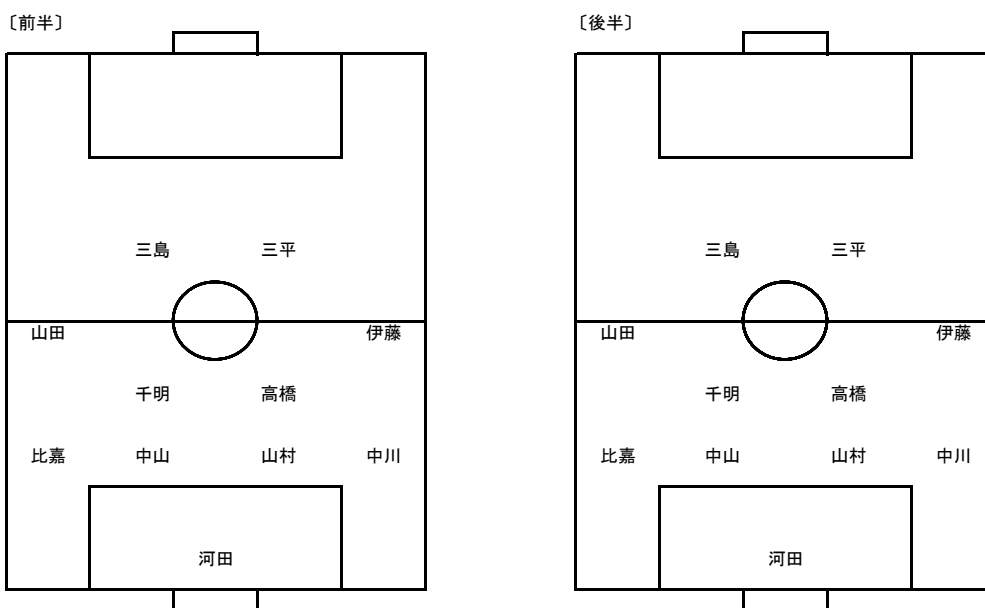
ユニバーシアードブラジル代表 **1** ( **1** - **1** ) **4** ユニバーシアード日本代表



## ■得点■

〔時間〕	〔チーム〕	〔得点者〕	〔アシスト〕
'17	ブラジル	Ribeiro Jr, Francisco	
'36	日本	三平 和司	
'58	日本	永井 謙佑	
'76	日本	永井 謙佑	
'93	日本	永井 謙佑	

## ■布陣■



## ■交代■

〔時間〕	〔OUT〕	〔IN〕	〔時間〕	〔OUT〕	→	〔IN〕
-	-	-	'55	伊藤 大介	→	永井 謙佑
			'61	千明 聖典	→	中町 公祐
			'80	三島 康平	→	木原 正和
			'88	山田 大記	→	田中 雄大

## ■戦評■

ユニバーシアード第2戦目はブラジルとの間で行われた。キックオフはブラジル、ゆっくりとしたパス回しでややスロースターターであった。前線からプレスを掛けるが後に回るプレーも多く、前半16分には自陣ゴール前の不用意なドリブルをカットされ、そのままシュートに持ち込まれゴールイン、0-1とされる。その後は一進一退の展開が続くが、36分、少し疲れの見てきたブラジルに対して積極的にドリブルで仕掛けた三平がペナルティーエリア内でファールを受けPKを得た。そのPKを三平自らが決め1-1とする。同点となったことで両チームとも主導権を握ろうとするが、思うようにシュートまで結びつかず前半終了。HTでは、もう一度ブラジルの攻撃のパターンと日本の闘い方の確認がなされた。後半開始早々ブラジルの早いスタートに守備の準備が遅れピンチを招いたが、秋田監督は55分、早くも伊藤→永井に代え勝負に出た。そして、58分、永井のドリブルシュートが決まり2-1とする。61分には少し疲れの見た千秋→中町に代え更に積極的な采配に出た。76分、山田からのスルーパスを再び永井がゴールし3-1とする。その直後、三島→木原に代え更に攻撃的にした。疲れの見て来たブラジルではあったが、86分中川の反則がイエローカードとなってしまふ。88分山田→田中を交代。元気な選手を入れ更に攻撃の活性化を計り得点を奪う作戦が功を奏し、インジュリアタイムにブラジルボールを体を張ってカットしたキャプテン高橋のパスを再び永井が俊足を生かしシュートを決め4-1とし試合終了。試合の入り方等には課題の残る結果となったが、選手が粘り強く守り勝てるようになったことは大きな収穫であった。これで予選リーグ2位以上は決定したが、次の試合も更に目標を高く持って試合に臨むことを期待したい。

(文責:ユニバーシアード日本代表GKコーチ 足立 高浩)